



プレスリリース

平成 28 年 10 月 12 日 14:00

大阪科学・大学記者クラブ 会員各位
河南記者クラブ 会員各位

防藻効果のある養液栽培用の新資材「黒色パネル」を共同開発

大阪府立環境農林水産総合研究所は、防藻（も）効果のある養液栽培用の黒色発泡スチロールパネル（以下、「黒色パネル」）をトーホー工業株式会社と共同開発し、特許を共同出願しました。

養液栽培に使用される白色発泡スチロールパネルでは、パネル面に発生した藻による生育阻害や資材の外観悪化が大きな問題になっていました。しかし、カーボンブラック※¹ 入りの黒色パネルを使用すると、光が十分にパネルに当たった状態でも防藻効果があり（図 1、2）、作物の生育にも影響がないこと（図 3）が確認できました。現在、カーボンブラックが藻の発生を抑制している要因について研究を進めています。

藻が発生しにくいため、植物工場やレストランの展示向け栽培施設への導入など幅広い利用が期待されます。

なお、この「黒色パネル」は、10月14日まで開催される第6回国際農業資材 EXPO で展示中※²です。

※¹ 炭素主体の微粒子 ※² トーホー工業株式会社出展

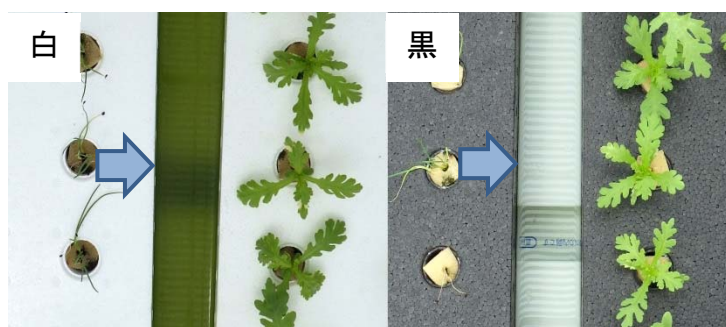


図1 栽培槽内の藻の発生状況

白色パネル（左）の隙間には藻が発生して培養液が濁っているが、黒色パネル（右）の隙間にはほとんど発生しなかった。



図3 黒色パネルでの栽培の様子



図2 藻の培養試験

発泡スチロールパネル片を沈めたビーカー内で緑藻を培養した。

白色パネル（左）では藻が発生したが（矢印）、黒色パネル（右）ではほとんど発生しなかった。